

◎ 高知市消防団の沿革

年月日	沿	革
明治22. 4. 1	高知市制施行	
7. 9	高知市を四区に分ち、上街組、高知街組、南街組、北街組と称する消防組を設置する	
27.	消防組を第1部、第2部、第3部とし、従来の高知街を解散し、これを以って高知市消防組を組織する 初代組頭 高橋正勝、人員149名、竜吐水21台	
34.	旧高知街区内に第4部を増設する	
43.	蒸気ポンプを購入、蒸気部第1部、第2部、第3部と組織を改める	
大正 6. 3. 15	江ノ口町が市に合併、同消防組を高知市消防組第3部とする	
	2代目組頭 入江集、実員106名	
14. 1. 1	旭村が市に合併、高知市消防組に編入する	
15. 1. 25	下知町が市に合併、同消防組を高知市消防組第5部とする 潮江村が市に合併、同消防組を高知市消防組第6部とする 3代目組頭 南部博、実員252名	
昭和 2. 5. 1	小高坂村が市に合併、同消防組を高知市消防組第7部とする 実員316名	
10. 9. 1	初月、秦両村が市に合併、両村消防部を高知市に編入し初月消防部、秦消防部とする 実員381名	
11. 1. 15	帯屋町1番地の高知警察署庁舎内に消防組本部を設置する	
14. 4. 1	警防団令発布され、高知市消防組を改組統合、高知市警防団と改称する 団長に南部博発令さる 実員673名	
15. 10. 1	港分団を増設する	
17. 6. 1	一宮、布師田、高須、朝倉、鴨田、三里、長浜、浦戸、御畳瀬、五台山の各町村が市に合併、高知市警防団に統合する 実員 910名	
19.	港警察署管内の警防団を分離し港警防団を設置する 港警防団長に白井鹿太郎発令さる	
20.	警防団長 南部博退職、前田嘉郎が警防団長（4代目）に就任	
22. 10. 27	消防組織法施行により警防団を解散し消防団を設置する 高知市消防団長（5代目）に山本義孝発令さる 実員431名 高知市港消防団長に服部久吉発令さる 実員236名	
23.	高知市消防団と高知市港消防団を合併、団長に山本義孝発令さる 実員657名	
27. 5. 20	山本団長退職 後任団長（6代目）に池道長発令さる 実員652名	
31. 8. 15	一斉指令装置付消防専用電話設置に伴い出動の合理化を図る	
31.	第1回高知県消防操法大会自動車ポンプの部優勝（初月分団）	
34. 4. 1	団員報酬を運営交付金制度に改める	
10. 1	池団長退職 後任団長（7代目）に野村包美発令さる 定員641名	
37. 7. 7	野村団長退職 後任団長（8代目）に松村菊馬発令さる 定員641名	
42. 11. 15	本町四丁目1番27号 消防総合庁舎竣工に伴い庁舎内に消防団本部を移転する	
43. 4. 1	消防団運営交付金制度を団員報酬制度に改める	
43.	第7回高知県消防操法大会自動車ポンプの部優勝（初月分団）	
46. 4. 1	松村団長退職 後任団長（9代目）に山本鶴喜発令さる 定員616名、実員546名	
47. 2. 1	大津、介良両村が高知市に合併、大津分団、介良分団として高知市消防団に編入する 定員664名、実員597名	
55. 4. 1	高知市消防団規則改正、長浜分団南部部が分団に昇格し全25分団となる 定員664名、実員575名	
56. 11. 1	山本団長退職 後任団長（10代目）に山崎寿喜発令さる 定員664名	
60. 4. 1	山崎団長退職 後任団長（11代目）に岩松才吉発令さる 定員664名、実員570名	
平成元. 4. 1	女性消防団員採用（団本部3名、分団1名）	
7. 10	消防100周年記念式典挙行 新消防団旗が市長より贈呈される	
8. 29	高知市コミュニティ消防センター（高知市消防団本部・高知街分団合同庁舎）完成に伴い、消防団本部を永国寺町6番18号に移転する	

年月日	沿革
2. 2. 14	日本消防協会特別表彰「まとい」を受賞
10. 5	岩松団長退職
11. 5	後任団長（12代目）に依光重利発令さる 定員664名，実員562名（内女性団員10名）
4. 4. 1	定員664名，実員558名（内女性団員9名）
11. 19	第19回高知県中央地区消防操法大会小型ポンプの部優勝（介良分団）
5. 3. 31	サイレン自動吹鳴装置完了
4. 1	定員664名，実員558名（内女性団員11名）
6. 4. 1	定員664名，実員561名（内女性団員12名）
7. 4. 1	定員664名，実員574名（内女性団員12名）
8. 4. 1	定員664名，実員566名（内女性団員14名）
9. 4. 1	定員664名，実員562名（内女性団員17名）
10. 3. 31	依光団長退職
4. 1	後任団長（13代目）に加田繁喜発令さる 定員664名，実員564名（内女性団員21名）
11. 18	平成10年防災功労者消防庁長官表彰を受賞
11. 4. 1	定員664名，実員568名（内女性団員19名）
5. 27	災害救助用ゴムボートを18分団に配備完了
9. 1	平成11年度防災功労者内閣総理大臣表彰を受賞
12. 3. 31	ファックス指令書送信システム整備完了
4. 1	定員664名，実員561名（内女性団員19名）
8. 1	高知市消防団女性コーラス隊発足
10. 29	第23回高知県中央地区消防操法大会小型ポンプの部優勝（介良分団）
13. 3. 13	平成12年度消防防災機器の開発等及び消防科学論文消防庁長官賞（優秀賞）受賞 （一宮分団長・楠瀬幸陽）
3. 31	消防団緊急伝達システム（無線サイレン装置等）整備完了
4. 1	定員664名，実員587名（内女性団員41名）
14. 1. 20	高知市消防出初式を高知市東部運動場屋内競技場（くろしおアリーナ）にて開催
3. 27	平成13年度消防団地域活動表彰消防庁長官賞受賞（高知市消防団）
4. 1	定員664名，実員606名（内女性団員41名）
11. 18	高知市消防団幹部OB会発足
12. 1	災害情報通知システム運用開始
15. 2. 6	財団法人日本消防協会より赤バイ3台の交付を受ける
4. 1	定員664名，実員615名（内女性団員46名）
10. 23	第16回全国女性消防操法大会準優勝
16. 2. 12	財団法人日本消防協会より赤バイ3台の交付を受ける 合計6台
4. 1	定員664名，実員602名（内女性団員46名）
17. 1. 1	土佐山・鏡両村が高知市に合併 土佐山分団・鏡分団として高知市に編入され，全27分団となる 定員759名，実員664名（内女性団員46名）
18. 2. 24	平成17年度全国消防団員意見発表会にて優秀賞受賞（団本部・村岡望美）
4. 1	定員759名，実員652名（内女性団員42名）
19. 4. 1	定員759名，実員655名（内女性団員40名）
10. 7	平成19年度高知県消防操法大会小型ポンプの部優勝（鏡分団）
20. 1. 1	春野町と合併 春野北分団・春野東分団・春野中分団・春野西分団・春野南分団として高知市に編入され，全32分団となる 定員900名，実員802名（赤バイ合計7台）
4. 1	定員900名，実員806名（内女性団員45名）
10. 12	第21回全国消防操法大会小型ポンプの部準優勝（鏡分団）
21. 3. 1	高知市消防団協力事業所表示制度実施要綱策定

年月日	沿	革
3. 31	加田団長退職	
4. 1	後任団長（14代目）に大野富至雄発令さる	定員900名，実員791名（内女性団員46名）
11. 5	第15回全国女性消防団員活性化岡山大会にて火災予防啓発劇を発表（介良・大津分団）	
22. 4. 1	定員900名，実員796名（内女性団員45名）	
23. 3. 7	朝倉分団屯所建替え（移転）	
3. 31	大野団長退職	
4. 1	後任団長（15代目）に堀内清朗発令さる	定員900名，実員796名（内女性団員45名）
24. 3. 1	春野中分団屯所建替え（移転）	
4. 1	定員900名，実員816名（内女性団員46名）	
5. 31	堀内団長退職	
6. 1	後任団長（16代目）に友村承蔵発令さる	定員900名，実員818名（内女性団員48名）
8. 31	分団別「地震災害初動活動計画」の策定	
10. 14	第29回高知県中央地区消防操法大会小型ポンプの部優勝（鏡分団）	
10. 30	エアージャケットを全団員に配備	
25. 3. 26	浦戸分団屯所建替え（移転）	
4. 1	定員900名，実員808名（内女性団員53名）	
26. 1. 1	高知市消防団公式ホームページ開設	
3. 24	長浜分団屯所建替え（移転）	
3. 24	春野東分団屯所建替え（移転）	
4. 1	定員900名，実員813名（内女性団員58名）	
27. 1. 30	介良分団西部部屯所建替え（移転）	
3. 9	新型防火衣を全分団に配備完了（3か年計画）	
4. 1	定員900名，実員817名（内女性団員60名）	
28. 2. 19	春野南分団屯所建替え（移転）	
2. 22	高知市消防団消防救急デジタル無線（仮）運用開始	
2. 25	布師田分団屯所建替え（移転）	
4. 1	定員900名，実員826名（内女性団員57名）	
4. 1	高知市消防団消防救急デジタル無線運用開始	
29. 3. 31	友村団長退職	
4. 1	後任団長（17代目）に山本紘宇発令さる	定員900名，実員829名（内女性団員59名）
7. 10	高須分団屯所建替え	
30. 1. 1	高知市消防団基本構想～自らの地域は自ら守る～策定	
1. 19	初月分団屯所建替え（移転）	
3. 27	土佐山分団屯所改修	
4. 1	定員900名，実員818名（内女性団員62名）	
6. 24	高知市消防団夏季訓練（訓練礼式）実施	
31. 4. 1	定員900名，実員795名（内女性団員61名）	
令和元. 8. 23	江ノ口分団屯所建替え（移転）	
2. 2. 29	山本団長退職	
3. 18	（仮称）横浜分団屯所新築	
4. 1	後任団長（18代目）に近澤利衛発令さる	高知市消防団規則改正，長浜分団横浜部が横浜分団に昇格し全33分団となる 定員900名，実員772名（内女性団員61名）

◎ 高知市勢

面積	309 km ²
世帯数	163,448 世帯
総人口	325,706 人
男性	151,982 人
女性	173,724 人
世帯当り人口	1.99 人

(住民基本台帳人口)

◎ 消防体制

管理者	市長	岡崎 誠也
消防局	局長	本山 和平
	次長	山本 聡
	次長	片田 浩
	次長	宮本 正之
	参事	片岡 数一
消防団	団長	近澤 利衛
	副団長	岩田 実
	副団長	土居 正治
	副団長	大藤 敏夫
	副団長	-
	副団長	-

◎ 高知市消防団編成

1団 5大隊
33分団 12部
定数 900人
実員 772人

団本部
実員 12人

第1大隊
7分団 1部
実員 161人

第2大隊
7分団 4部
実員 161人

第3大隊
6分団 7部
実員 135人

第5大隊
5分団
実員 141人

第4大隊
8分団
実員 162人

☆ 消防局・消防署・出張所
● 分団屯所・部

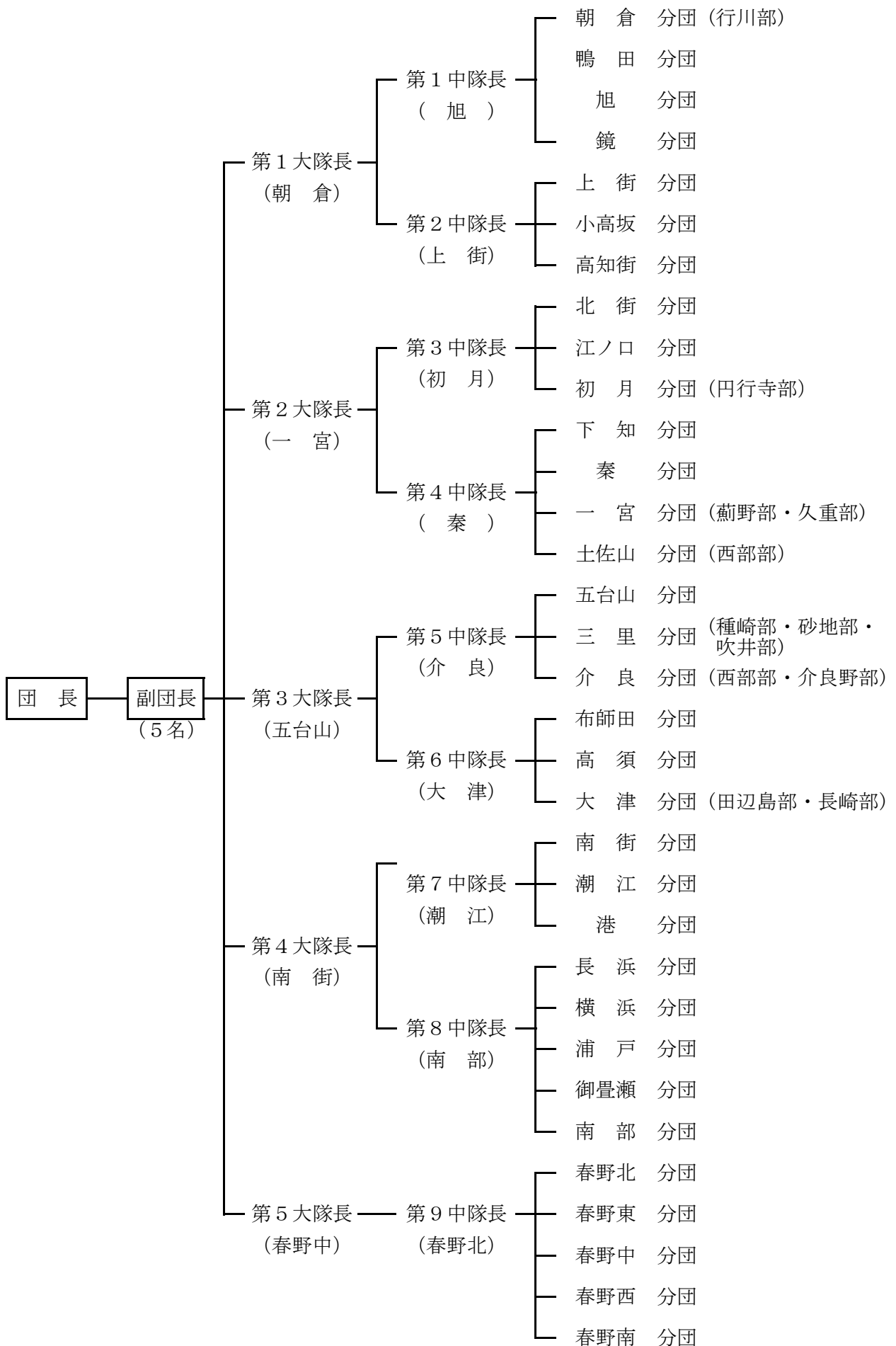


◎ 高知市消防団施設の名称, 所在地及び区域

大隊	中隊	名称	所在地	区域
第1大隊	中隊	団本部	高知市永国寺町6-18	
		朝倉	朝倉本町一丁目7-10	朝倉甲 朝倉乙 朝倉丙 朝倉丁 朝倉戊 朝倉己 宗安寺 行川 針原 上里 朝家 唐岩 曙町一丁目 曙町二丁目 朝倉本町一丁目 朝倉本町二丁目 若草町 若草南町 鶴来果 飯山町 針木東町 大谷公園町 朝倉南町 朝倉横町 朝倉東町 朝倉西町一丁目 朝倉西町二丁目 針木北一丁目 針木北二丁目 針木本町 針木南 針木西
	第1中隊	行川	行川888-2	
		鴨田	鴨田1354-8	鴨田 神田 鴨部高町 鴨部上町 鴨部一丁目 鴨部二丁目 鴨部三丁目
		旭	旭町二丁目38-4	東城山町 城山町 東石立町 石立町 玉水町 纏手町 鏡川町 下島町 旭町一丁目 旭町二丁目 旭町三丁目 赤石町 中須賀町 旭駅前町 元町 南元町 旭上町 水源町 本宮町 上本宮町 大谷 岩ヶ瀬 島越 塚ノ原 西塚ノ原 長尾山町 旭天神町 佐々木町 北端町 山手町 横内 口細山 尾立 蓮台 福井町 福井崎町 福井東町
	鏡	鏡小浜4-1	鏡大河内 鏡小浜 鏡大川 鏡今井 鏡草峰 鏡白岩 鏡岸山 鏡吉原 鏡的洞 鏡去坂 鏡竹奈路 鏡歌の山 鏡柚ノ又 鏡横矢 鏡増原 鏡葛山 鏡梅ノ木 鏡小山	
	第2中隊	上街	上町三丁目4-8	上町一丁目 上町二丁目 上町三丁目 上町四丁目 上町五丁目 本丁筋 水通町 通町
小高坂		山ノ端町190-4	井口町 平和町 三ノ丸 宮前町 西町 大鷲町 山ノ端町 桜馬場 城北町 北八反町 宝町 小津町 越前町一丁目 越前町二丁目 新屋敷一丁目 新屋敷二丁目 八反町一丁目 八反町二丁目	
第2大隊	第3中隊	北街	はりまや町二丁目14-14	桜井町一丁目 桜井町二丁目 はりまや町一丁目 はりまや町二丁目 はりまや町三丁目
		江ノ口	愛宕町三丁目10-24	入明町 洞ヶ島町 寿町 中水道 幸町 伊勢崎町 榎町 吉田町 愛宕町一丁目 愛宕町二丁目 愛宕町三丁目 愛宕町四丁目 大川筋一丁目 大川筋二丁目 駅前町 相生町 江陽町 北本町一丁目 北本町二丁目 北本町三丁目 北本町四丁目 栄田町 新本町一丁目 新本町二丁目 昭和町 和泉町 塩田町 比高町一丁目 比高町二丁目 比高町三丁目 比高町四丁目 栄田町一丁目 栄田町二丁目 栄田町三丁目
		初月	万々389	
	第4中隊	円行寺	円行寺672-4	東久万 中久万 西久万 南久万 万々 中万々 南万々 紫巻 円行寺 一ツ橋町一丁目 一ツ橋町二丁目 みづき一丁目 みづき二丁目 みづき三丁目 みづき山
		下知	知寄町一丁目4-34	宝永町 弥生町 丸池町 小倉町 東雲町 日の出町 知寄町一丁目 知寄町二丁目 知寄町三丁目 青柳町 稲荷町 若松町 高そね 杉井流 北金田 南金田 札場 南御座 北御座 南川添 北川添 北久保 南久保 海老ノ丸 中宝永町 南宝永町 二葉町
		秦	愛宕山18-3	愛宕山 前里 東秦泉寺 中秦泉寺 三園町 西秦泉寺 北秦泉寺 宇津野 三谷 七ツ瀬 加賀野井一丁目 加賀野井二丁目 愛宕山南町 秦南町一丁目 秦南町二丁目
		一宮	一宮中町一丁目5-16	
		薊野	薊野北町四丁目7-27	一宮 薊野 重倉 久礼野 薊野西町一丁目 薊野西町二丁目 薊野西町三丁目 薊野北町一丁目 薊野北町二丁目 薊野北町三丁目 薊野北町四丁目 薊野東町 薊野中町 薊野南町 一宮西町一丁目 一宮西町二丁目 一宮西町三丁目 一宮西町四丁目 一宮しなね一丁目 一宮しなね二丁目 一宮南町一丁目 一宮南町二丁目 一宮中町一丁目 一宮中町二丁目 一宮中町三丁目 一宮東町一丁目 一宮東町二丁目 一宮東町三丁目 一宮東町四丁目 一宮東町五丁目 一宮徳谷
		久重	重倉1488-7	
		土佐山	土佐山125-2	土佐山葛藤 土佐山西川 土佐山椋谷 土佐山 土佐山高川 土佐山桑尾 土佐山都綱 土佐山弘瀬 土佐山東川 土佐山中切
土佐山西部	土佐山弘瀬379-2			
第3大隊	第5中隊	五台山	五台山5001	坂江 五台山 壘頭
		三里	仁井田1536-5	
		種崎	種崎405-5	
		砂地	仁井田3368-16	池 仁井田 種崎 十津一丁目 十津二丁目 十津三丁目 十津四丁目 十津五丁目 十津六丁目
		吹井	仁井田2971-4	
	第6中隊	介良	介良乙1778-1	
		介良西部	介良丙277-6	介良甲 介良乙 介良丙 介良 潮見台一丁目 潮見台二丁目 潮見台三丁目
		介良野	介良甲930-9	
	第6中隊	布師田	布師田1824-4	布師田
		高須	高須新町二丁目5-14	高須 葛島一丁目 葛島二丁目 葛島三丁目 葛島四丁目 高須新町一丁目 高須新町二丁目 高須新町三丁目 高須新町四丁目 高須砂地 高須本町 高須新木 高須一丁目 高須二丁目 高須三丁目 高須東町 高須西町 高須絶海 高須大谷 高須大島
大津		大津乙930-7		
田辺島		大津乙2178-3	大津甲 大津乙	
第4大隊	第7中隊	長崎	大津甲130-2	
		南街	南はりまや町二丁目1-34	中の島 九反田 菜園場町 農人町 城見町 堺町 南はりまや町一丁目 南はりまや町二丁目 弘化台
		潮江	塩屋崎町一丁目5-12	土居町 役知町 潮新町一丁目 潮新町二丁目 仲田町 北新町 新田町 梅ノ辻 棧橋通一丁目 棧橋通二丁目 棧橋通三丁目 棧橋通四丁目(1~9号 16号) 天神町 笹山町 塩屋崎町一丁目 塩屋崎町二丁目 百石町一丁目 百石町二丁目 百石町三丁目 百石町四丁目 竹島町 北竹島町 北高見町 高見町 幸崎 小石木町 大原町 河ノ瀬町 南河ノ瀬町 南新田町 萩町一丁目 萩町二丁目 深谷町 幸西町 棧橋通四丁目(ただし 1~9号 16号を除く) 棧橋通五丁目 棧橋通六丁目 幸東町 南ノ丸町 南竹島町 六泉寺町 南中山 北中山
	第8中隊	港	棧橋通六丁目4-43	
		長浜	瀬戸南町二丁目10-30	長浜 瀬戸 瀬戸西町三丁目 長浜宮田 瀬戸二丁目 瀬戸南町一丁目 瀬戸南町二丁目
		横浜	横浜西町36-10	横浜 横浜東町 横浜西町 横浜南町 横浜新町一丁目 横浜新町二丁目 横浜新町三丁目 横浜新町四丁目 横浜新町五丁目 瀬戸一丁目 瀬戸東町一丁目 瀬戸東町二丁目 瀬戸東町三丁目 瀬戸西町一丁目 瀬戸西町二丁目 長浜崎給台一丁目 長浜崎給台二丁目
		浦戸	浦戸817-1	浦戸
御豊瀬	御豊瀬249-2	御豊瀬		
南部	長浜4252-4	長浜(長浜分団の区域を除く)		
第5大隊	第9中隊	春野北	春野町平和3393-13	春野町芳原 春野町ノ谷 春野町平和 春野町南ヶ丘一丁目 春野町南ヶ丘二丁目 春野町南ヶ丘三丁目 春野町南ヶ丘四丁目 春野町南ヶ丘五丁目 春野町南ヶ丘六丁目 春野町南ヶ丘七丁目 春野町南ヶ丘八丁目 春野町南ヶ丘九丁目
		春野東	春野町東諸木296-1	春野町東諸木 春野町西諸木 春野町甲殿
		春野中	春野町西分337	春野町秋山 春野町西分 春野町弘岡下
		春野西	春野町弘岡中2294-1	春野町弘岡上 春野町弘岡中 春野町森山
		春野南	春野町西畑1824-2	春野町仁ノ 春野町西畑

◎ 消防団部隊編成表

令和2年4月1日現在



◎ 高知市消防団定員実員表

令和2年4月1日現在

分団名	定員	実員	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員
団本部	17	12 (8)	1	3	1 (1)	1 (1)	1 (1)	1 (1)	4 (4)
朝 倉	32	30 (0)			1	1	3	3	22
鴨 田	24	21 (2)			1	1	2	2	15 (2)
旭	24	20 (4)			1 (1)	1	2	2	14 (3)
鏡	40	32 (2)			1	1	2	2	26 (2)
上 街	24	20 (1)			1	1	2	2 (1)	14
小高坂	24	25 (4)			1	1	2	2	19 (4)
高知街	24	13 (0)			1	1	2	2	7
北 街	24	14 (3)			1	1	2 (1)	2	8 (2)
江ノ口	24	11 (0)			1	1	1	2	6
初 月	29	27 (2)			1	1	3	3	19 (2)
下 知	24	14 (3)			1	1	2	2	8 (3)
秦	24	24 (0)			1	1	2	2	18
一 宮	42	40 (1)			1	1	4	4	30 (1)
土佐山	40	31 (1)			1	1	3	3	23 (1)
五台山	24	16 (0)			1	1	2	2	10
三 里	48	40 (2)			1	1	5	5	28 (2)
介 良	24	20 (4)			1	1	3	3 (2)	12 (2)
布師田	24	20 (0)			1	1	2	2	14
高 須	24	17 (1)			1	1	2	2	11 (1)
大 津	24	22 (2)			1	1	3 (2)	3	14
南 街	24	26 (0)			1	1	2	2	20
潮 江	24	22 (5)			1	1	2	2 (1)	16 (4)
港	24	20 (1)			1	1	2	2	14 (1)
長 浜	24	22 (1)			1	1	2	2	16 (1)
横 浜	20	18 (4)			1	1	2	2 (1)	12 (3)
浦 戸	20	19 (4)			1	1	2	2	13 (4)
御豊瀬	20	16 (2)			1	1	2	2	10 (2)
南 部	20	19 (3)			1	1	2	2	13 (3)
春野北	30	33 (0)			1	1	2	2	27
春野東	30	29 (0)			1	1	2	2	23
春野中	30	32 (1)			1	1	2	2	26 (1)
春野西	30	25 (0)			1	1	2	2	19
春野南	20	22 (0)			1	1	2	2	16
計	900	772 (61)	1	3	34 (2)	34 (1)	76 (4)	77 (6)	547 (48)

充足率：85.8%

()内は女性

◎ 消防団員階級別在職年数状況

令和2年4月1日現在

階級別 在職年数	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	計
5年未満						2	141 (17)	143 (17)
5年以上 10年未満			1	2	1	7 (1)	99 (14)	110 (15)
10年以上 15年未満				1	5 (1)	8	107 (5)	121 (6)
15年以上 20年未満			3	3	10	17 (3)	88 (10)	121 (13)
20年以上 25年未満			3 (1)	5 (1)	14 (1)	16 (1)	52 (1)	90 (5)
25年以上 30年未満			9	11	22 (2)	16	29 (1)	87 (3)
30年以上 35年未満		1	5 (1)	2	10	6 (1)	14	38 (2)
35年以上 40年未満		1	6	6	10	3	6	32
40年以上	1	1	7	4	4	2	11	30
計	1	3	34 (2)	34 (1)	76 (4)	77 (6)	547 (48)	772 (61)

()内は女性

◎ 消防団員階級別年齢別状況

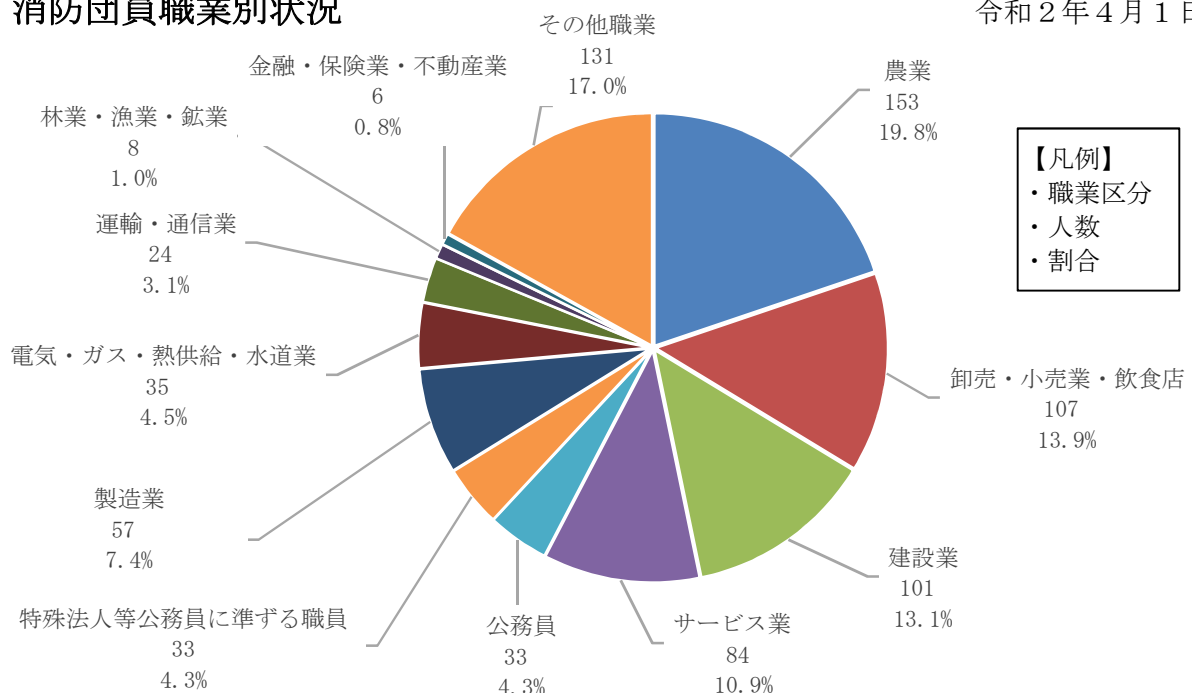
令和2年4月1日現在

階級別 年齢	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	計
20歳未満							1	1
20歳以上 25歳未満							8 (1)	8 (1)
25歳以上 30歳未満							20 (3)	20 (3)
30歳以上 35歳未満					2	3	40 (4)	45 (4)
35歳以上 40歳未満			1		1	2	74 (5)	78 (5)
40歳以上 45歳未満				1	3	9	116 (8)	129 (8)
45歳以上 50歳未満				5	11	18 (3)	100 (8)	134 (11)
50歳以上 55歳未満			3	6	14	16 (1)	83 (7)	122 (8)
55歳以上 60歳未満		1	8	5	10	8 (2)	58 (11)	90 (13)
60歳以上	1	2	22 (2)	17 (1)	35 (4)	21	47 (1)	145 (8)
計	1	3	34 (2)	34 (1)	76 (4)	77 (6)	547 (48)	772 (61)
平均年齢			全体：49.10歳		男性：49.12歳		女性：48.85歳	

()内は女性

◎ 消防団員職業別状況

令和2年4月1日現在



◎ 実員及び平均年齢の推移

基準日：各年4月1日

	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年	令和2年
実員数 充足率 (定数：900人)	826	829	818	795	772
	91.8%	92.1%	90.9%	88.3%	85.8%
入団者数	36	37	25	32	
退団者数	33	45	48	52	
平均年齢	47.94	47.98	48.19	48.75	49.10

入退団者数については、当該年度（4月1日～翌年3月31日）の人数

◎ 平成31年 消防団出動状況

(平成31年1月1日～令和元年12月31日)

区分	火災 (誤報含む)	風水害等の 災害	演習・訓練等	広報・指導	特別警戒	搜索
件数	40	0	75	90	23	1
延人員	1,285	0	3,028	738	483	18

◎ 消防団出動件数の推移

(各年1月1日～同年12月31日)

区分	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年
合計	315	272	362	213	229
火災 (誤報含む)	59	37	63	37	40
風水害等の災害	1	0	1	1	0
演習・訓練等	252	233	290	171	75
広報・指導	0	0	0	0	90
特別警戒	3	0	1	2	23
搜索	0	2	7	2	1

◎ その他

☆福利厚生

- ・定期健康診断の実施（年1回）
- ・レクリエーション
ボウリング大会（隔年で実施）

☆消防操法大会

- ・高知市消防操法大会（隔年で実施）
- ・高知県中央地区消防協議会消防操法大会（隔年で実施）

☆表彰制度

- ・消防出初式
 - 市長表彰（勤続20年、30年、40年、50年）
 - 団長表彰（優良団員・勤続10年・優秀分団・優良分団）
 - 市長表彰 家族功勞（団員の家族）

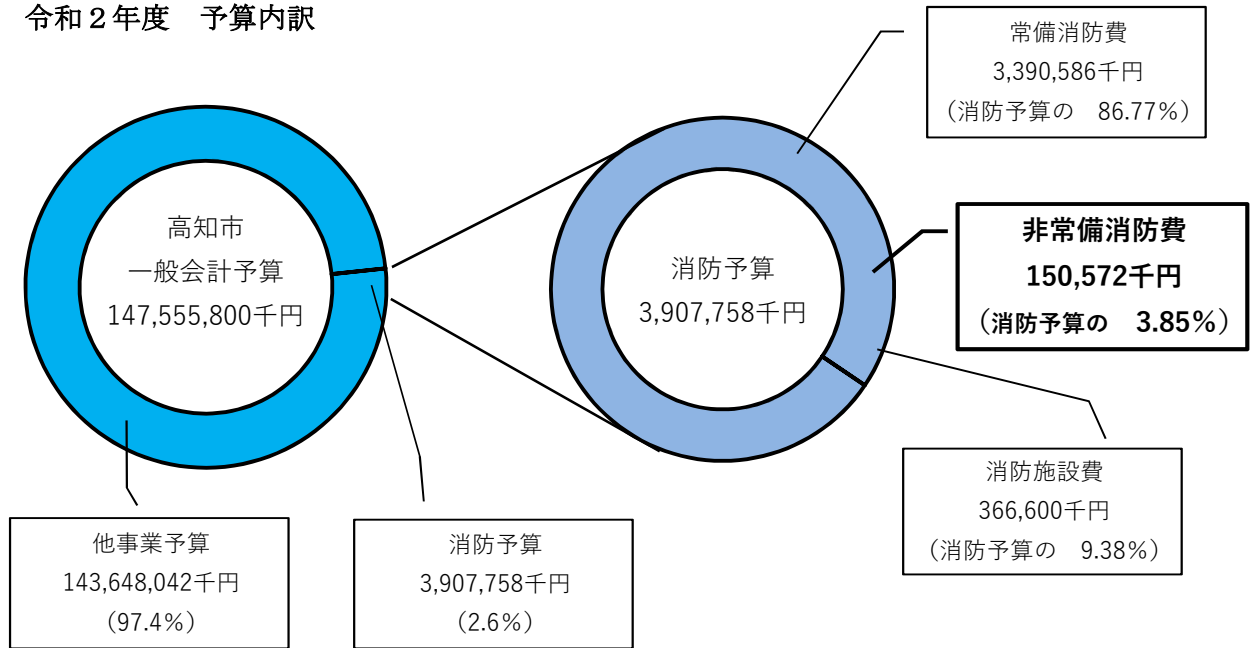
◎ 消防団の装備

令和2年4月1日現在

名称		数量等	備考
消防機材	水槽付小型動力消防ポンプ積載車	2	鏡・土佐山
	消防ポンプ自動車	35	CD I 型
	小型動力ポンプ積載車	13	鏡・土佐山・春野 外10部
	小型動力ポンプ（車載を含む）	58	D1級1台・C1級44台・B2級11台・B3級2台
	団本部指揮広報車	1	
	人員搬送車	6	旭・小高坂・北街・南街・潮江・春野
	ボートトレーラー	1	春野南
	ボート	35	ゴムボート船外機付31艇・FRP船外機付1艇・FRP折りたたみ式3艇
	緊急消防自動二輪車（赤バイ）	7	
連絡用器具	携帯型移動無線装置	134	団本部，各分団及び赤バイ
	無線受令機	41	
	デジタルトランシーバー	307	
	車載型移動無線装置	51	団本部車両・各分団車両及び予備車
救助用資機材等	防火服一式	389	執行部，各分団10着，各部5着
	エンジンカッター	61	
	ジャッキ	33	災害救助用エアジャッキ
	油圧切断機	1	
	救命胴衣	875	
	チェーンソー	2	
貸与品	制服一式	全団員	
	短靴・バッグ	女性団員	
	活動服一式	全団員	
	安全靴	全団員	
	アポロキャップ	全団員	
	雨衣	全団員	
	水防用ヘルメット・ヘッドライト	全団員	
	耐切創性手袋	全団員	
	防塵メガネ	全団員	
	防塵マスク	全団員	

◎ 消防予算

令和2年度 予算内訳



◎ 消防団員報酬

区分	団 長	副団長	分団長	副分団長	部 長	班 長	団 員
年額	139,000円	93,000円	66,000円	39,500円	32,500円	31,500円	30,500円

◎ 出動手当

(一人1回・8時間ごと)

区分	災害出動・警戒出動・捜索	その他の出動・訓練等
費用弁償	5,800円	3,700円

災害出動・・・火災に至らない出動であっても、緊急走行を伴う場合は災害出動として取り扱う。

◎ 運営交付金

	金 額	備 考
消防団運営交付金	18,353 千円	
<内訳>		
・ 団本部運営交付金	720 千円	60,000円 × 12か月
・ 福 祉 共 済	2,562 千円	3,000円 × 854名
・ 交 通 費	1,200 千円	
・ 分団運営交付金	7,524 千円	19,000円 × 33分団 × 12か月
・ 自動車管理費	4,356 千円	11,000円 × 33分団 × 12か月
・ 小型ポンプ管理費	749 千円	5,200円 × 12部 × 12か月
・ 年末警戒交付金	615 千円	15,000円 × 33分団
		10,000円 × 12部
・ 出初式交付金	627 千円	19,000円 × 33分団

◎ 消防団の活性化対策

平成10年9月に発生した豪雨災害をうけ、本市では、消防団の防災対応力の強化及び慢性的な団員不足と高齢化という課題解決のため、平成11年度からスリーアップ事業として消防団の活性化対策に取り組んできた。そうした中、平成23年に発生した東日本大震災の教訓や今後発生が懸念されている南海トラフ巨大地震に備え、地域防災力の向上を目指し、自主防災組織の育成とともに地域の要となる消防団の体制強化を図るため、消防団の装備の充実、消防団員の増員や安全対策を加速化して進め、消防団の活性化対策に取り組んでいる。

区 分	事 業	内 容
イメージアップ事業	<ul style="list-style-type: none"> ○ アポロキャップ導入 ○ 消防音楽隊の設立 ○ 女性コーラス隊の設立 ○ 女性消防団員の制服等の更新 ○ 分団屯所美化・広報事業 ○ 活動服の更新 ○ 「サトシ君」による消防団PR活動 ○ 高知市消防団公式ホームページ開設 ○ 活動服の更新 	<ul style="list-style-type: none"> 鯨のロゴマークを採用し全団員に貸与（平成11年度） 平成11年4月発足（職員及び団員で編成） 平成12年8月発足（女性団員） 平成12年度（活動服）平成14年度（制服） 分団屯所のシャッターに地元小中学生と一緒にペイントを実施（平成12年度～） 新基準活動服（平成15年度～平成18年度） デハラユキノリ氏の協力を得て、「サトシ君」を起用したシャッターペイント、ポスター、のぼり旗、ステッカーの作成（平成27年度～） 平成26年1月～ 新基準活動服（平成28年度～平成30年度）
機 能アップ事業	<ul style="list-style-type: none"> ○ ゴムボート整備 ○ 消防車両等の更新 ○ ファックス指令書送信システムの導入 ○ 消防団緊急伝達システムの構築 ○ 災害案内・順次指令システムの導入 ○ アマチュア無線基地局の整備 ○ 署活系無線機の整備 ○ 消防団活性化補助事業 ○ 消防団車載受令機の更新 ○ 下知分団屯所の建設 ○ インターネット対応携帯電話災害通知システム ○ 五台山分団屯所建替え ○ 三里分団（吹井部）屯所建替え ○ 上街分団屯所建替え ○ 三里分団（種崎部）屯所建替え ○ 小高坂分団屯所建替え ○ 朝倉分団屯所建替え（移転） ○ 春野中分団屯所建替え（移転） ○ エアジャケット配備 ○ 浦戸分団屯所建替え（移転） ○ デジタルトランシーバーを整備 	<ul style="list-style-type: none"> 5人乗り船外機付・18艇（平成10・11年度） 消防ポンプ車や小型ポンプ等の更新整備 分団に地図付の出動指令書をファックスで送信するもの（平成11年度） 無線サイレン装置の更新等（平成12年度） テレホンガイドの整備や報道機関、分団幹部への情報伝達の迅速化を図る（平成12年度） 団本部に無線機設置（平成12年度） 各分団に署活系無線機を整備（～平成12年度） 自主防災組織指導に伴う県の補助事業軽装備品の購入（平成11年度～） 全分団ポンプ車の受令機を更新（平成12年度） 鉄骨造2階建、延べ257.02㎡（平成14年度） 消防団員に災害情報を配信（平成14年度） 鉄骨造2階建、延べ163.20㎡（平成17年4月完成） 木造平屋建、延べ54.65㎡（平成18年8月完成） 鉄骨造3階建、延べ208.60㎡（平成19年6月完成） 鉄筋4階建（津波避難センターに併設）、延べ724.89㎡（平成21年1月完成） 鉄骨造2階建、延べ112.00㎡（平成22年3月完成） 鉄骨造2階建、延べ105.21㎡（平成23年3月完成） 鉄骨造2階建、延べ102.06㎡（平成24年3月完成） 安全確保を目的として全団員に貸与（平成24年10月） 鉄骨造2階建、延べ123.56㎡（平成25年3月完成） （平成25年度～3か年計画）平成27年度配備完了

区 分	事 業	内 容
機 能 ア ッ プ 事 業	<ul style="list-style-type: none"> ○ 長浜分団屯所建替え（移転） ○ 春野東分団屯所建替え（移転） ○ 介良分団西部部建替え（移転） ○ 新型防火衣全分団配備 ○ 春野南分団屯所建替え（移転） ○ 布師田分団屯所建替え（移転） ○ デジタル無線全分団に配備 ○ 高須分団屯所建替え ○ 初月分団屯所建替え（移転） ○ 土佐山分団屯所改修 ○ 江ノ口分団屯所建替え（移転） ○ 横浜分団屯所新築 	<ul style="list-style-type: none"> 鉄骨造 2 階建，延べ123.44㎡（平成26年 3 月完成） 鉄骨造 2 階建，延べ113.31㎡（平成26年 3 月完成） 鉄骨造平屋建，延べ35.21㎡（平成27年 3 月完成） 全分団，部に配備完了（3 年計画 平成27年 3 月） 鉄骨造 2 階建，延べ138㎡（平成28年 2 月完成） 鉄骨造 2 階建，延べ113.71㎡（平成28年 2 月完成） 車載・携帯型デジタル無線配備（平成28年 2 月～） 鉄骨造 2 階建，延べ112.99㎡（平成29年 7 月完成） 鉄骨造 2 階建，延べ198.00㎡（平成30年1月完成） 鉄筋造 2 階建，延べ328.21㎡（平成30年 3 月完了） 鉄筋造 2 階建，延べ188.43㎡（令和元年 8 月完成） 鉄筋造 2 階建，延べ114.66㎡（令和 2 年 3 月完成）
パ ワ ー ア ッ プ 事 業	<ul style="list-style-type: none"> ○ 幹部視察研修 ○ 消防署体験研修の実施 ○ 小型船舶免許取得研修 ○ アマチュア無線資格講習 ○ 防災士資格取得 ○ 危険物取扱者試験準備講習会 ○ 特別委員会・活性化推進委員会の設置 ○ 部長会の設置 ○ 内助功労表彰制度の導入 ○ 消防団入団式の実施 ○ 緊急消防自動二輪車隊結成 ○ 古式はしご乗り隊結成 ○ 応急手当指導員資格取得 ○ 女性団員の環境づくり検討会の設置 ○ 女性団員研修会の設置 ○ 分団別「地震災害初動活動計画」の策定 ○ 検討委員会の設置 ○ 団員募集検討委員会の設置 ○ 情熱向上プロジェクトチーム設置 	<ul style="list-style-type: none"> 対象を平成11年度から班長以上に拡大 平成12年度～ 2 級小型船舶操縦士免許資格取得研修実施 （平成11年度～）（平成27年度から年間約10名） 第 4 級アマチュア無線技士資格取得講習実施（平成12年度） 平成26年度～ 平成13年度～ 消防団活性化について特別に検討し事業推進（平成12年度～） 平成12年度～ 平成12年度～ （平成28年出初式から「家族功労」へ名称変更） 平成12年度～ 平成15年～ 平成15年～ 平成16年～ 平成21年 8 月22日：第 1 回会議開催～平成27年11月 7 日 平成22年11月26日：第 1 回会議開催～ 平成24年 8 月 平成25年 6 月～26年 3 月 平成25年11月～27年 3 月 平成27年 4 月～ （平成31年 4 月から「高知市消防団みらいプロジェクト」へ名称変更）

◎ 令和2年度 高知市消防団行事予定表

令和2年4月1日現在

月	日	行 事	備 考
4	1(水)	市長表彰式	高知会館(団長・受賞者)
	2(木)	護国神社参拝(参拝中止)	高知県護国神社
	17(金)	局・団連絡会 定例幹部会(延期・書面) 市長表彰祝賀会・団幹部歓送迎会(延期)	団本部 高知会館 飛鳥
	22(水)	高知県消防大会(中止)	県民体育館
5	中旬	定例幹部会	団本部
	29(金)	高知県中央地区消防協議会総会(書面会議)	いの町
6	未定	ボート操船訓練(中止)	場所未定
	未定	高知市防災倉庫点検	地域防災推進課から依頼
	未定	消防団夏季訓練(中止)	場所未定
	26(金)	女性団員活動検討会	消防局会議室
7	5(日)	消防団水防工法訓練	種崎海水浴場
	7(火)	消防団後援会連合会役員会	団本部
	31(金)	消防団後援会連合会総会・懇親会	高知会館
	18・19	消防団員基礎教育(前期)	高知県消防学校(通学)
	中旬 未定	定例幹部会 消防団幹部視察研修(中止)	団本部 兵庫県豊岡市
8	9(日)	高知市納涼花火大会警備	鏡川河畔
	21(金)	高知県中央地区消防協議会操法審査員講習会	高知県消防学校
	28(金)	女性団員活動検討会	消防局会議室
9	6(日)	定例幹部会・入団式	団本部・高知会館
	13(日)	中央地区消防協議会消防操法講習会	高知県消防学校
	26(土)	女性団員活動検討会	消防局会議室
10	3・4	消防団員基礎教育(後期①)	高知県消防学校(宿泊)
	11(日)	中央地区消防協議会消防操法大会	高知県消防学校
	16(金)	定例幹部会・操法慰労会	団本部・高知城ホール
	24・25	指揮幹部科(現場指揮課程)	高知県消防学校(宿泊)
	31(土)	消防団員基礎教育(後期②)	高知県消防学校(宿泊)
11	1(日)	消防団員基礎教育(後期②)	高知県消防学校(宿泊)
	13(金)	高知県11市消防団連絡協議会総会	香南市
	9～15	秋の火災予防運動	
	14・15	ポンプ操法指導員講習	高知県消防学校(通学)
	19(木) 27(金)	全国女性消防団員活性化徳島大会 女性団員活動検討会	徳島県 消防局会議室
12	中旬	定例幹部会	団本部
	19(土)	高知県女性団員交流会	高知県消防学校
	22～31	年末警戒	市長・議長巡視(28日予定)
1	9・10	消防団員基礎教育(後期③)	高知県消防学校(宿泊)
	10(日)	消防出初式	くろしおアリーナ
	26(火)	文化財防火デー	
2	上旬～	団員健康診断	場所未定
	中旬	定例幹部会・安全祈願	団本部・高知八幡宮
	6・7	指揮幹部科(分団指揮課程)	高知県消防学校(宿泊)
	26(金)	女性団員活動検討会	消防局会議室
3	1～7	春の火災予防運動	
	5(金)	消防記念日表彰式	調整中
	12(金)	11市消防団連絡協議会団員研修(団員・職員研修会)	ザ クラウンパレス新阪急(予定)
	中旬	定例幹部会	団本部

※女性団員活動検討会 2年度は5回開催予定(6月・8月・9月・11月・2月)

※令和2年度上半期については、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により複数の行事等において、延期、中止及び書面会議対応とした。